

第 18 回 八代地域審議会会議録

開催日時	平成23年6月1日（水）	13:00～15:50
開催場所	麦島公民館 中会議室	

■ 出席委員

会 長	徳田 武治	委 員	岡山 誠	委 員	濱田 律子
副会長	山中 タミ子	〃	西尾 静子	〃	宮田 康治
委員	稲村 芳文	〃	西濱 昭則	〃	
〃	大林 凌	〃	濱 大八郎	〃	

■ 欠席委員

委員	古閑 啓子	委員		委員	
----	-------	----	--	----	--

■ 市出席者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
市長	福島 和敏	議会事務局長	米田 健二
企画戦略部長	永原 辰秋	議会事務局次長補佐	澤井 光郁
企画戦略部次長	福永 知規	議会事務局議事調査係長	松川 由美
企画政策課長	丸山 智子	長寿支援課管理係長	中村 光宏
企画政策課課長補佐	谷脇 信博	こども未来課保育係長	岩崎 龍一
企画政策課企画係長	相澤 誠	市民活動支援課住民自治推進係長	村上 修一
企画政策課主任	草西 亮介		
企画政策課主事	坂本 友和		

■ その他の出席

役 職	氏 名	役 職	氏 名
八代市議会議長	山本 幸廣	八代市議会 議会改革特別委員会委員長	村上 光則

■ 傍聴者

一般傍聴者		0 名	報道機関		1 名
-------	--	-----	------	--	-----

■ 協議事項

①八代市議会に関する市民への意見聴取について【資料2-1、2-2、2-3】 ②その他諮問機関への参加について ・八代市介護保険事業計画等策定・評価審議会委員の推薦について【資料3】 ・八代市立保育所民営化等検討委員会委員の推薦について【資料4】 ③報告事項 ・住民自治の進捗状況について【資料5】
--

■議事録

1. 開会

<事務局>

本日は、ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、八代地域審議会を始めさせていただきます。

これまで、委員交代後の第1回目の会議は、6地域合同で開催しておりましたが、今回は、委員の皆様方へ直接委嘱状を交付し、意見交換を行いたいという市長の意向から個別での開催といたしました。後ほど時間を設けておりますので、皆様の忌憚のないご意見をいただければと思います。

2. 委嘱状交付

<事務局>

市長が皆様のお席まで参りますので、名前を呼ばれた方はご起立ください。

なお、交付の順番は五十音順とさせていただきます。

※1名ずつ名前を呼び委嘱状を交付

稲 村 芳 文 様

大 林 凌 様

岡 山 誠 様

徳 田 武 治 様

西 尾 静 子 様

西 濱 昭 則 様

濱 大 八 郎 様

濱 田 律 子 様

宮 田 康 治 様

山 中 タミ子 様

3. 市長挨拶

<事務局>

式次第では市長挨拶としておりますが、後ほど意見交換会と併せて行いますので先に出席者の紹介を行います。

4. 出席者紹介

～各委員及び企画戦略部・企画政策課職員 自己紹介～

5. 正副会長の選出

<事務局>

地域審議会の設置に関する事項の第6条第1項には、「審議会に会長、副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。」となっています。いかがいたしましょうか。どなたかご推薦いただけないでしょうか。

<委員>

事務局案はありますか。

<事務局>

事務局の案といたしましては、前期も委員を務められ、本会の経緯についてもご存じであるということで、八代市市政協力員協議会会長の「徳田委員」に会長を、副会長には長年八代市地域婦人会連絡協議会会長としてご活躍されています「山中委員」をそれぞれ推薦したいと思いますがいかがでしょうか。

～委員一同 拍手により承認～

～正副会長挨拶～

6. 市長との意見交換会（市長挨拶含む）

～市長挨拶及び意見交換会～

※市長挨拶終了後 徳田会長退席

※市長との意見交換会終了後 宮田委員退席

～ 休 憩 ～

7. 地域審議会の役割と運営要領について

～事務局（企画政策課）より説明～

8. 議題

<事務局>

本日は11名の委員中8名のご出席となり、委員の2分の1以上のご出席を得ておりますので、地域審議会の設置に関する事項の第7条第3項により、本日の審議会が成立しますことをまずもって報告させていただきます。

また、地域審議会の設置に関する事項の第7条第4項において「審議会の議長は、会長が務めるものとする。」と規定してありますが、本日は会長が不在ですので、第6条第3項の規定により、会長代理として副会長に、これから先の会議を進めて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

（1）八代市議会に関する市民への意見聴取について

～八代市議会 議会改革特別委員会 村上委員長 挨拶～

<事務局（議会事務局）より説明>

（資料2-1、2-2、2-3の内容をふまえ、アンケート用紙「八代市議会の議員定数等に関する市民の皆様からの御意見」に回答し、6月20日（月）までに返信用封筒にて議会事務局へ提出を依頼。）

<委員>

資料にある他自治体の議員数については数字だけ調べたのか。それとも、その人員で議会運営が十分できるのかどうかまで調べておられるのかお尋ねします。

また、八代市の議員一人当たりの有権者数は3,256人とありますが、それよりも少なくなる校区はあるのでしょうか。

<事務局>

削減についての具体的な経緯及び、議会の運営状況までは調べておりません。

泉・東陽からも一人ずつ議員がいらっしゃいます。はっきりとした校区人口はわかりませんが、おそらく3, 256人より少ないのではないかと思います。

<委員>

議員定数削減の方向で動いているようですが、削減しなければならないのは、財源が確保できないことが理由ですか。

<事務局>

財政的に余裕がないことも考慮して検討されていますが、財政だけを優先して議員数を減らしては、地域の代表を議会に選出できないという意見もあっています。そのため、今回地域審議会の委員の皆様は市民としての意見を伺い、それを踏まえてこれからの議員定数のあるべき姿を見出していかなければなりません。

<委員>

財政が厳しいから議員定数を減らそうという考えでいいのですか。

<事務局>

財政が厳しいということも要因の一つです。他の要因としては、他市においても議員定数が削減されている中、八代市は上限定数のままでいいのか、ということが議会对策特別委員会で議論されています。

<委員>

人口が減っているのに定数はそのままでいいのか、ということも話の発端になっているということですか。

<事務局>

そういった意見も出ています。

<委員>

校区の住民としては、近くに議員さんがいらっしゃると相談しやすく、頼もしい存在です。財政難ということであれば、人数を減らすよりは報酬を減らすことは考えられないですか。

また、校区によっては議員さんがいないところもあるが、校区のばらつきをなくするような選出ができれば市民も安心できるかと思います。

<委員>

現在、報酬についても含めて議論されているところです。

<委員>

報酬だけではなく、八代を愛する気持ちでやっていただきたい。

<事務局>

34名の議員がいらっしゃいますが、個々の校区だけでなく、八代市全体を考えて議論をされています。

<委員>

なぜ、議会で定数を決めることができず、今回、市民の意見を聞くことになったのか。

また、面積、人口、地域性の事情で削減できないという意見もあるようですが、「面積」とはどういった考えなのでしょう。

<事務局>

議員定数については、市民の皆様から率直な意見を伺い、最終的には議会改革特別委員会で結論を出します。面積が広がるから削減をしないということではなく、色々な方面から検討して議員定数について考えていきます。減らすのかどうかもまだ決まっていない状況です。

<委員>

議員さん一人当たりの人口や面積の比率について、議員さんはどういったお考えだったのかお聞きしたい。

<村上委員長>

議会改革特別委員会でも減らすのか、減らさないのか様々な意見が出ています。まだ何も決まってないので、これから皆様の意見を頂戴して委員会で決定していきたいと思っております。

<議長>

市民の皆様を目線で色々なご意見を伺うということですので、委員の皆様は持ち帰られて所属する団体や色々な方の意見をアンケートに反映させてください。

(2) その他諮問機関への参加について

<事務局>

地域審議会に委員推薦の依頼があっています、それぞれの諮問機関の内容についてご説明いたします。その後、委員推薦についてご検討いただきたいと思います。

・八代市介護保険事業計画等策定・評価審議会委員の推薦について

～事務局（長寿支援課）より説明～

・八代市立保育所民営化等検討委員会委員の推薦について

～事務局（こども未来課）より説明～

<議長>

「八代市介護保険事業計画等策定・評価審議会」、「八代市立保育所民営化等検討委員会」という2つの諮問機関に、地域住民の代表である地域審議会委員の中から、それぞれの委員会に参画していただきたいというお願いです。

どなたか推薦、あるいは、参加したいと思われる方はいらっしゃいますか。

<委員>

事務局で案があるのではないですか。

<事務局>

事務局の案といたしましては、八代市介護保険事業計画等策定・評価審議会委員に「濱田委員」、八代市立保育所民営化等検討委員会委員として「稲村委員」にお願いできればと思います。

<議長>

ただいま事務局より、八代市介護保険事業計画等策定・評価審議会委員に「濱田」さん、八代市立保育所民営化等検討委員会委員に「稲村」さんという案が示されましたが、みなさんいかがでしょうか。

～委員一同 拍手により承認～

9. 報告事項

(1) 住民自治の進捗状況について

～事務局（市民活動支援課）より説明～

<委員>

八代市住民自治推進団体連絡会議と地域審議会とは関係があるのですか。

<事務局>

地域審議会に下部組織を設け、意見を伺った上で、平成19年9月に基本指針を策定しました。それを基に「住民自治によるまちづくり行動計画」の策定を行いましたが、その際もこの地域審議会にお諮りし、意見を求めてまいりました。

現在、行動計画に沿って色々な施策に取り組んでいますが、今後もそのあり方や進め方について地域審議会の意見を伺いたいと思っています。

<委員>

すでに地域審議会の意見は、今度モデル地域が始まりますが、その中にある程度反映されていると思います。今後はどんな意見が出たかの報告だけでいいのではないのでしょうか。

<事務局>

ただ、これから先行地域を通じて色々な課題が出てきたときには、地域審議会に諮りながら進めていきたいと考えています。

<委員>

自分が所属する校区に自分がどうかかわって行くかの認識だけでいいのではないですか。ここで意見を出すということは難しいと思います。

<事務局>

そこは適宜こちらで判断し、場合によっては報告や提案をしていきたいと思っています。

<委員>

基本的には「八代市住民自治推進団体連絡会議会」に相談しながら進めていかれるわけでしょ。

<事務局>

そうです。

<委員>

であれば、地域審議会では報告だけになってくるということでしょ。

(事務局了承)

10. その他・11. 次回会議日程

～事務局（企画政策課）より次回会議日程について説明～

<委員>

6つの地域審議会が開催されていますが、各地域で議題も違うようですので、他の審議会でもどのような話をされているか少しでも聞かせてほしいと思います。

<事務局>

次回からご報告できるよう検討いたします。

12. 閉会

<議長>

本日の第18回八代地域審議会を終了いたします。

長時間にわたり協力いただきありがとうございました。

15：50分（終了）